

○１７番（小野辰夫）（登壇） おはようございます。

自民クラブの小野辰夫でございます。

本年の５月２１日、万博、新居浜デーには、私にとりまして初めての万国博覧会見学に行つてまいりました。

入場口を入り、最初に目に飛び込んできたものは、木で造った大屋根リングで、釘を一本も使わず、日本の古来の方法で、しかも大半が愛媛県産ということ。これは世界に発信してもおかしくない、感動する建物でございました。

次に、大屋根リングまで聞こえてきた太鼓の音色に誘われて、お祭り広場に行き、口屋、萩生東、岸之下の３台の太鼓台、その３台の同時さし上げは圧巻で、川東地区に育った私にとっては、３台そろってさし上げるところはさらさら見たこともなく、鳥肌の立つのを覚え、鉢合わせしか知らなかった私にとりましても、太鼓祭りを魅了するのはこれだと感じました。

帰りのタクシーの運転手さんの話で、万博会場はどうでしたかと伺うと、外国から来た人はワンダフル、すばらしいと言っている。日本人はすばらしいが、物が高過ぎると、こういうほとんどの感想でございました。

以上でございます。

改めまして、質問させていただきます。

質問１、敷島橋の架け替え及び川東地区幹線道路の整備について。

まず、敷島橋の架け替え及び川東地区の幹線道路について、質問いたします。

道路橋は人の移動や物資の輸送に不可欠な重要な役割を果たしておりますが、高度成長期に建設された橋の多くが、老朽化が進行し、今後の維持管理、更新費の増加が懸念されているところでございます。

平成２６年４月１４日の社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、道路の老朽化対策の本格実施に関する提言が取りまとめられ、その中で維持管理の重要性が指摘されております。

それを受け、新居浜市においても、道路橋について、５年に１度の頻度を基本とした近接目視による点検が実施されていると伺っております。

その点検結果から作成された橋梁長寿命化修繕計画においては、目指すべき目的として、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕等にかかるコストの削減を図るとともに、安全・安心な地域の道路網の形成を確保することと記載されております。

新居浜市が管理する橋梁の中でも、特に長大である敷島橋は、川西地区と川東地区を結ぶ、市民にとっては重要な交通路であります。建設から６０年以上経過しており、老朽化が分かるほど損傷してきております。

それに加え、敷島橋の道路幅は前後の道路幅より狭くなっているため、通行に危険を感じるとの声が多く聞かれます。また、橋脚の数が多いため、大雨の際には流木が引っかかる、河川氾濫を起こすことも心配されます。

令和２年９月議会の一般質問において、私が敷島橋の架け替えについて質問したところ、理事者から、敷島橋は防災上の観点から、対策が必要な橋梁であることは十分理解して

おり、架け替え等の対策の検討も必要と考えているとの答弁がありました。

それから5年近く経過しております。敷島橋の架け替えの時期が迫っているのではないかと感じております。

一方で、川東地区の南北の幹線道路整備として、都市計画道路宇高西筋線の整備が進められており、令和6年2月に市道新田松神子線から高津小学校までが開通し、高津小学校から敷島通りまでの区間約400メートルは、令和5年度から事業化されております。あわせて、敷島通りから南側区間についても、県道壬生川新居浜野田線までの区間約570メートルが、令和6年度から愛媛県においても事業化されており、完成すれば、市道新田松神子線から県道壬生川新居浜野田線に至る南北交通路が整備されることとなります。

そこで、お伺いいたします。

東西の幹線道路の重要な交通路となる敷島橋の架け替えについても、宇高西筋線の整備と並行して考えるべきではないかと思いますが、御所見をお伺いいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 小野辰夫議員さんの御質問にお答えいたします。

敷島橋の架け替え及び川東地区幹線道路整備についてでございます。

川東地区の幹線道路整備につきましては、現在、市道新田松神子線から県道壬生川新居浜野田線までの都市計画道路宇高西筋線の整備を、愛媛県及び新居浜市において実施しております。

令和6年2月には、市道新田松神子線から高津小学校までの430メートル区間を供用開始しており、引き続き新居浜市においては高津小学校から敷島通りまでの区間を、愛媛県においては敷島通りから県道壬生川新居浜野田線までの区間を事業着手するなど、事業進捗を図っているところでございます。

敷島橋につきましては、令和4年度に実施した橋梁点検において早期措置段階と判定されておりますことから、本格的な修繕、改修工事が必要であり、防災上の観点からも、架け替え等、対策の検討が必要と考えております。

しかしながら、敷島橋の架け替えにつきましては多額の事業費を要するとともに、事業実施における周辺住民への影響も大きいことから、まずは現在着手している宇高西筋線の早期開通に注力し、敷島橋につきましては、事業手法、整備手法を含めた検討を重ねながら、適切な維持管理に努めてまいります。

○議長（田窪秀道） 小野辰夫議員。

○17番（小野辰夫）（登壇） 非常に高額になると思いますが、よろしく願います。